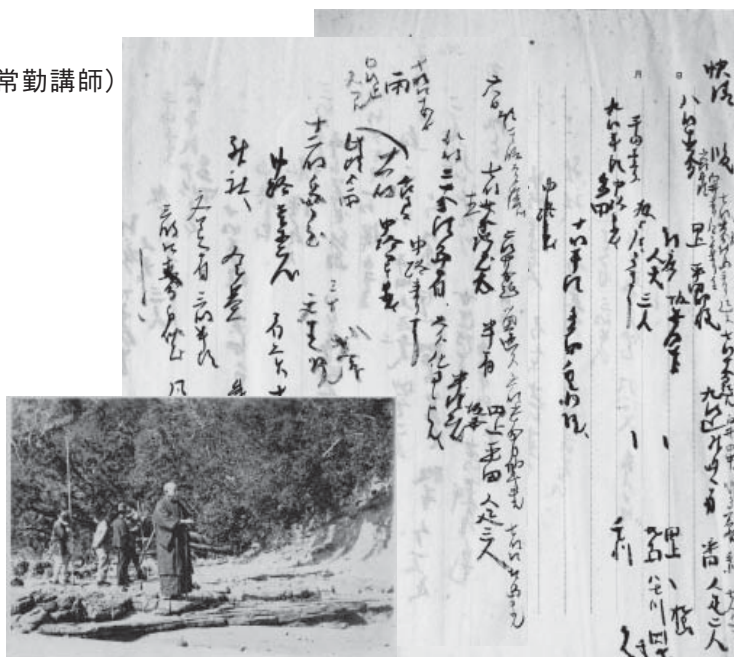


■発行／南方熊楠顕彰会 〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL0739-26-9909 FAX0739-26-9913  
http://www.minakata.org/ 〈E-mail〉 minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠…………… 19

## 日記覚書 (自筆メモ)

文／岸本 昌也 (武蔵大学非常勤講師)



【左下は測量時のものと推定される写真  
「関連 0859」】

先日顕彰館にて南方熊楠の自筆メモを閲覧する機会があった。偶々このメモが書かれた日付を特定できたので、紹介しようと思う。

この史料は、切り離されていない状態の便箋二枚に墨書されたもので、『南方熊楠邸資料目録』には「自筆466」という整理番号と、「メモ(日記)昭和期」なる表題及び関連情報が付されている。また史料を包む半紙には、おそらく資料調査時に書き込まれたのであろう、「日記覚書」との添え書きがある。

便箋の一枚目は「快晴 暖 七時十分起る 八時十五分田上、平田助役 九時過神島へ着」で始まり、細字で「六時半頃白井来り色々もち来り 七時に五分前北島来り起す」「白井、田中、暫くして署長、毛利七人のる」と書き込まれている。二枚目の書き出しは「六日朝一寸晴 すぐ陰る、二時二十分起菌画く、六時五十分自働車来る 七時頃北島来る」であり、他に「十時四十分より雨 〇時止 又ふる」「八時二十分頃島着 すぐ仕事にかゝる」という文字列もみえ、日々つけている日記の下書きあるいは日記代わりの書付であることは明らかである。

二枚綴りの便箋に書かれていることから五日と六日の記事と考え、この二日間に熊楠が神島に渡っている日付を捜すと、昭和九年十一月五日、六日があてはまる。早速同年の日記を取り出して当該日付を確認すると、五日は「快 暖 朝七時に五分前北島氏来り 予七時十分起る 是より先六時半頃白井弥栄【以下記載なし】」。六日は「朝陰より雨 夜二時過止 冷」と天気、寒暖のみで本文には何も記されていない。便箋の一枚目と五日の日記が一致し、二枚目も六日の記述と矛盾しないことから「自筆466」の日付が確定した。

この二日間、熊楠は田辺営林署の長谷川信彦署長、白井弥栄技手、田中周造林主事、新庄村の田上次郎吉前村長、平田金蔵助

役、中路甚蔵村会議員、「和歌山県史蹟名勝天然記念物調査委員」の肩書きを持つ毛利清雅、地元の協力者である北島脩一郎、樫山嘉一(神島行きを伝える十一月十三日付上松菴宛書簡には「当研究所員」と記されている)、そして営林署や新庄村が手配した測量技手、人足らとともに室戸台風の被害を受けた神島に渡り、全島の測量を指揮した。この時熊楠が日記代わりに残した心覚えが「自筆466」であり、当日の日記にその情報を転記することはなかった。この史料の日付確定により、日記に欠けていた、神島の測量という天然記念物指定申請に向けた作業の情報が補われることとなったのである。

### CONTENTS

第26回南方熊楠賞 受賞式	…2
南方熊楠賞受賞記念講演 中沢新一	…3
第10回 南方熊楠ゼミナール 基調講演 荒俣 宏	…11
第33回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 奥山直司	…22
第33回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 鈴木 滋	…27
第34回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 川島昭夫	…31
第34回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 橋本一徑	…40
シンポジウム ロンドンの南方熊楠 川島昭夫	…46
野村益三撮影「熊野路」と南方熊楠映像 岩崎 仁	…53
夏期例会報告 中尾優司	…54
南方熊楠と同級生たち 郷間秀夫・杉山和也	…56
南方熊楠蔵書『草木性譜』・『有毒草木図説』について 郷間秀夫	…60
書簡の杜 (十五) 岸本昌也	…62
書評・書籍紹介 矢島毅彦	…64
「熊楠」生物覚え書 ㉓ 土永知子	…67
第45回 月例展のご案内	…68